

平成28年度第1回「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」
「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：平成28年4月26日（火）午後6時30分～8時00分

会場：すみだリバーサイドホール（ミニシアター）

次 第

1 開会

2 新委員委嘱

議 題	資料№
（1）新委員委嘱	資料1

3 事務局異動者紹介

4 議題

議 題	資料№
（1）平成28年度子ども子育て会議について	資料2、3
（2）平成28年度実施予定のニーズ調査の質問項目について	資料4～7
（3）平成28年度第1回評価指標ワーキンググループの報告について	資料8
（4）平成28年度保育施設今後の整備予定について	資料9

5 次回開催予定

6 閉会

配布資料

資料1	平成28年度「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」及び「墨田区子ども・子育て会議」委員名簿及び事務局名簿
資料2	「墨田区子ども・子育て会議」と「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」の体系図
資料3	平成28年度墨田区子ども・子育て会議スケジュール
資料4	ニーズ調査の設問一覧
資料5	ニーズ調査票【就学前のお子さんの保護者の方用】
資料6	ニーズ調査票【小学生のお子さんの保護者の方用】
資料7	ニーズ調査票【成人前調査用】
資料8	平成28年度第1回評価指標ワーキンググループ議事要旨
資料9	平成28年度保育施設今後の整備予定

出席者(敬称略)

○委員

大豆生田 啓友(玉川大学大学院教育学研究科教授)

野原 健治(興望館館長)

長田 朋久(横川さくら保育園長)

西島 由美(にしじま小児科院長)

服部 榮(社会福祉法人雲柱社理事長)

高橋 朋宏(文花子育てひろば施設長)

押田 剛(主任児童委員)

佐瀬 一夫(中学校 PTA 連合会会長)

内田 淳(青少年委員協議会委員)

森 八一(青少年育成委員会連絡協議会副会長)

中村 信幸(連合墨田地区協議会議長)

賀川 祐二(NPO 法人病児保育を作る会代表理事)

貞松 成(株式会社 global bridge 代表取締役)

熱田 美帆(公募)

小林 佳香(公募)

佐藤 摩耶子(公募)

荘司 美幸(公募)

関 舞衣子(公募)

陳 晨(公募)

近藤 ゆき江(八広幼稚園長)

青塚 史子(八広保育園長)

佐藤 順一(寺島中学校長代理・寺島中学校副校長)

<欠席委員>

高嶋 景子(田園調布学園大学大学院人間学研究科子ども人間学専攻教授)

杉浦 浄澄(江東学園幼稚園副園長)

相澤 しのぶ(立花吾嬬の森小学校 PTA 会長)

小菅 崇行(小菅株式会社代表取締役会長)

新木 真理子(ひまわり保育園施設長)

本多 美絵子(両国幼稚園副園長)

木村 律子(公募)

島村 博(菊川小学校長)

<傍聴>

1名

○部課長出席者

石井 秀和(子ども・子育て支援担当部長)、北村 淳子(保健衛生担当部長)、後藤 隆宏(教育委員会事務局次長)、浮田 康宏(子育て支援課長)、高橋 義之(子ども・子育て支援担当副参事)、杉崎 和洋(子ども課長)、村田 里美(子育て支援総合センター館長)、梅原 和恵(福祉保健部)

副参事)

○事務局出席者(検討チーム含む)

田村、岩佐、戸村、酒井、小林、正岡、土井

○事務局(株名豊)

渡邊

4 議題

(1)平成 28 年度子ども子育て会議について

事務局	(資料 2 を説明) (資料 3 を説明)
-----	--------------------------

(2)平成 28 年度実施予定のニーズ調査の質問項目について

事務局	(資料 4 ～ 7 を説明)
会長	今回の調査は、人口増に伴って、ニーズ調査をもう一度やろうというもの。調査項目について前回からの継続審議になっており、その中の意見で、成人前のところなどは、できるだけ負担を軽くしようと項目数を減らしてきたが、意見の中であまりに項目数を減らし過ぎではないか、もう少し聞くべきことを聞いた方がよいのではないかという意見があり、今回新たにオレンジの項目と青の部分を追記ということで、事務局の方で提案いただいた。青色の部分がみづらくなっているので、補足して説明して欲しい。
事務局	(資料 4 補足説明)
委員	最近よく感じるのは、お母さんたちが、赤ちゃんが生まれた時に初めて赤ちゃんに接するという人が増えているような気がする。例えば、高校生の時に赤ちゃんの面倒をみたことがあるかだとか、自分の弟、妹の世話をしたことがあるかだとか、そういった項目があるとよいと思う。高校生の赤ちゃんふれあい体験を実施している中でも「初めて」という声を聞くこともある。初めて子どもを産んだ時に、びっくりせずに安定して子育てができるようになればと思う。
会長	その項目は乳幼児の母親のところに入っていなかっただろうか。親が対象だったと思うが、親になる段階ではなく、親になる前の子どもの段階で聞いてみてはどうかということ。
委員	成人前の子どもに聞く質問の中に「ほしい子どもの人数」という項目があるが、それ以前にそちらを聞いた方がよいのではないか。子どもの人数を聞いてもあまり意味がないのではないか。
会長	特に反対がなければ文言を含めて検討していただく。これまで親向けの文言でそれらしい文言が共通してあったので、あまり変わった言葉でつくらない方がよいと思っている。かつて、親向けには標語レポートなどで質問があり、かなり有名なデータとして出されているので、そのようなものともリンクできるとよいと思っている。このことについては前向きに検討してほしい。
委員	「理想の子どもの数」というのは、「ほしい子どもの数」でよいのではないか。「本当は何

	人ほしい」、しかし、「実際は何人しかもてない」というように聞いた方がよいと思う。また、「希望の保育園には入れたか」というのも、みんな希望の保育園に入れたわけではないので、とりあえず、保育園は入れたのか入れていないのか、シンプルに聞いた方がよいと思う。
会長	前と違ってよいのかということは迷うところ。他の調査で「理想」ということを使っている項目もある中で、ここだけ変えるのかということについても検討をお願いしたい。
委員	成人前の３ページの問８にある「夕食は誰と食べるか」という質問と、問１０の「家でご飯をどのように食べるのが多いか」と重複していないか。それならば、夕食は下の方に入れてもよいのではないか。朝食は毎日食べているのかを聞いて、夕食は孤食していないかを聞いている。
事務局	整合性をみて判断させていただく。
委員	青少年の３ページの問７の文言で「起きられますか」ではなく「起きれますか」という表現の方がよくないか。
委員	「起きられますか」という聞き方では、「起きられない」という答えがないとおかしいと思う。「朝はひとりで起きられますか」と聞けば、「自分で起きられる」と答えになると思う。
会長	そのご意見も踏まえてお願いしたい。
委員	成人前の４ページの問１４で「携帯電話をもっているか」という質問で、これは通話ができることが目的なのか、インターネットが目的なのか、どちらに主軸を置いているのか。インターネットの利用に絡んでいて、ＳＮＳをやるという問題を含んでいる問いであれば、ipad やタブレット端末を含んだ方がよいかと思う。
会長	おそらく問１７から１９につながっていく流れに重点を置いているのではないかと思うので変更を含めて検討をお願いしたい。
事務局	就学前の８ページの５番にトワイライトステイという事業があるが、区の方で実施していないので削除訂正をお願いしたい。
会長	トワイライトステイは問２１から削除する。
事務局	今回修正案をみていただくのに、少し時間が足らなかったと思う。今後、意見についてメール等いただければ次回反映させていただく。締め切りについてはまた改めてお伝えする。
会長	何かご意見があれば事務局までお願いしたい。
委員	資料５の乳幼児の１２ページの問３０だが、すべての方に子育て支援サービスについて聞いているので、一時保育のサービスもぜひ入れていただきたい。

(3)平成 28 年度第 1 回評価指標ワーキンググループの報告について

委員	(資料 8 を説明)
会長	肢体不自由児などの障害を持つ子を対象にするということか。
委員	いろんな障害を持つ人がいるので、発達障害だけではないということ。
会長	わかりました。他にはいかがか。
委員	アンケートで拾えない人のインタビュー調査をしなければならないという話だったが、そもそも評価指標に関することというのは、このニーズ調査の設問に含まれていたのか。
委員	私もふとっていて、前回の指標ワーキングの時に、どのようなアンケートを取ったのかを聞いて出していただいた資料があった。

委員	もしやっていないのであれば、すべての評価指標の最後のところ指標に関する項目を付け加えて、さらにアンケートで拾えない指標についてインタビューをすることで、整合性が合うと思う。
会長	そもそものところを一度整理していただき、次回説明していただいて、同時平行でやっているアンケートの方と整理する形でお願いしたい。

(4)平成 28 年度保育施設今後の整備予定について

事務局	(資料 9 を説明)
委員	この建物はどういう建物か。
事務局	ビルの 1 階。
事務局	建物は 9 階建てで保育園部分は 1、2 階。既存の会社が入っているので、そこを改修するという形になる。
委員	1 階の面積はどのくらいか。
事務局	今資料がないが、1、2 階部分で 397.28 m ² になる。
会長	他にいかがか。 先ほど保留になっていた評価指標のワーキングについて補足をお願いしたい。
委員	(資料 3 の) 網がかかっているところをインタビューで聞いてはどうかと提案があった。 なお、妊婦健診は少し違うのではないかとお伝えした。
会長	今回の会議ではそのような意見が交換されたと受け止めることにする。

(5)その他

委員	(乳幼児のワーキングの動向を説明)
委員	(学齢のワーキングの動向を説明)
事務局	今の説明で放課後子ども教室という話があったが、教育委員会の方で、今年度から一部従来の拡大版を始めたので、その計画などについて説明してもらう。
事務局	前々回で副会長からのご質問があり、今年度から予算化した放課後子ども総合プランは、放課後子ども教室と学童クラブを融合させて、子どもの体験的な活動などを活性化していこうという事業になる。今年度からモデル的に実施してみて、平成 31 年度に向けて拡大していこうということで、今年度は第四吾嬬小学校と第一寺島小学校の 2 校でやる予定。この 2 校は、放課後子ども教室がいわゆる校庭開放型というところと家族クラブと一緒にある学校となっている。5 月ともうひとつの方は 6 月からの予定で、最初月一回のペースで行い、児童館の方にプログラムや企画をつくっていただき、学校の方に来ていただいて事業展開するというので、今のところ準備を進めている。始まったら検証して次年度につなげていこうというモデル的な事業となっている。
会長	今の 2 つのワーキングについてご質問やご意見はあるか。資料 3 にあるように、今年は親会議の回数が結構ある。ワーキンググループのところ学齢か乳幼児か、全員がどちらかに入るようになっているが、原則として子ども・子育て会議と同時開催となっている。今日のように時間が早めに進むようであれば、30 分くらいそれぞれのワーキンググループに集まって議題を、あまり回数を増やすよりは、なるべくお集まりいただいた時に効率的にでき

	ばよいと思っている。それぞれのワーキンググループで目標がおりだと思うので、計画的に進めることができればと思っているので、よろしく願いしたい。
事務局	その他のお願いしたい。 議題2のニーズ調査のところ、資料5の12ページ、問30の墨田区で行われている墨田区の子育て支援サービスについてというところに、2つ問いに入れていただきたいことがある。1つは昨年度の11月から始めた「ゆりかご・すみだ事業」。これは、妊娠届けを出した際に専門職が面接をして、支援が必要な方には支援プランを作成し、必要な機関に繋いでいくという事業。昨年度は約9割の方にご利用いただきました。2つ目は今年度から拡充したのですが「パパの育児学級」。これは、いわゆる両親学級というもので、これまでは倍率2倍ほどでお断りし、ご不便をお掛けした部分もありましたが、今回は拡充しまして毎月2回ずつそれぞれの保健センターで実施できるように整備したところ。この2点についてお願いできればと思う。
会長	それでは事務局でご検討ください。
委員	各部署で色々な子育て支援事業をやっている。もっと入れたいものがあるのではないかな。
会長	その中である程度取捨選択しなければならないという流れがある。その中で何が優先されるべきなのか、あるいは全部載せるのか、ある程度載せるのか、その辺りを含めて検討をお願いしたい。
委員	せっかくいろんな事業をやっているの、ぜひみてみたいというのはある。
事務局	特に最近は母子保健事業と子育て支援サービスとの融合が強く求められているので、そういった主旨で今のご発言は墨田区の目玉でもあるので、効果を計るという点でも必要だと思う。
事務局	「ゆりかご・すみだ」というのは日本全国で始めたことだが、特に東京都は力を入れており、また補助金も付き、生まれる前からの必要な方にサービスが行き届くということで、これは毎年検証して継続性を検討するにあたってはぜひニーズ調査が必要であるということが1点、両親学級についても区長がプレス発表もしたこともあり、子育てと保険の部分を融合していく1つの目玉の始まりということでご検討いただきたい。
会長	ここで議論はしにくいかなと思うので、そこを踏まえていただいてお願いしたい。
委員	病児保育を始めましたがガラガラとなっている。始めたことを載せてほしい。
会長	そういう意味でいえば特徴ある取り組みが始まっているということではとてもよいこと。これとの関連性ということで前向きにご検討いただきたい。 ここままでよろしいか。もし、その他の議題を含めてないようであれば、ここままで議題は閉じさせていただく。

次回開催予定

日時：平成28年5月24日（火）午後18時30分～

以上